

山岳トイレ導入事例データベース作成方針について





山岳地にトイレを導入する際、地域や標高、利用状況などによって設置条件は大きく異なり、山岳トイレ技術も多岐に渡っている。しかし、技術を比較するための情報が少ない中、設置後にトラブルが発現する事例も見られている。

一方、実証事業は、試験を通して客観的なデータを示す実証であり、基準を設けて適合性を判定する認証ではない。従って、実証事業において、各ユーザーにとって最良の技術を選定させることはできない。そのため、平成19年度に実施したシンポジウムにおいても、実証データを効果的に活用してもらうための資料として、データベースの提供が求められているとの議論があった。

データベースの公開は、環境省の実証事業ホームページにて掲載することとし、その方法について、参照手順（案）を以下に記す。

なお、一覧として表示される事例は、「実証事業データ」と「その他のデータ」を区別する。「その他のデータ」ではメーカー名は表示しない方向で検討する。

(注) 現状のページの構造とは異なります

- ① 環境省ホームページから、「山岳トイレ技術分野」を参照し、分野ページを開く。

- ② 山岳トイレ分野ページの「山岳トイレ導入事例データベース（仮称）」を開く。

- ③ DB利用の基礎情報として、データベースの利用方法やし尿処理技術の全体像を把握するための前提情報を掲載する。

- ④ 山岳トイレ導入事例データベースでは、データベースの趣旨や見かたを提示し、「〇〇でみる」を開く。なお、今回の制作においては、4パターン程度の並べ替え一覧表を作成する。必要に応じて追加を検討することとする。

- ⑤ 各該当順で既に並んでいるデータを参照する。「設置条件」から、「導入事例」を検索し、詳細情報を閲覧する。導入した自治体や山小屋等の連絡先等も可能な限り掲載し、問い合わせできるようにする。

参照手順 (イメージ)

